

決算説明会

2011年3月期第2四半期

2010年11月2日
ミネベア株式会社



1. 業績の説明

2. 経営方針と事業戦略

業績の説明

取締役 専務執行役員 加藤木 洋治

上半期連結業績ハイライト

円高にも拘らず、好調な需要に支えられ、計画を上回る増収増益

(百万円)	2010年3月期	2011年3月期	前年同期比 伸び率	2011年3月期 上半期	
	上半期	上半期		期初計画	達成率
売上高	109,268	137,695	+26.0%	129,000	106.7%
営業利益	2,115	12,371	5.8倍	10,900	113.5%
経常利益	1,029	11,536	11.2倍	9,900	116.5%
税引前利益	729	11,103	15.2倍	7,800	142.3%
純利益	△364	7,317	黒転	4,700	155.7%
一株当たり 純利益(円)	△0.94	19.15	黒転	12.31	155.6%

為替レート	10/3期上半期	11/3期上半期
US\$	96.12円	89.70円
ユーロ	132.90円	114.92円
タイバーツ	2.78円	2.78円
人民元	14.06円	13.17円

11/3期上半期 想定
90.00円
132.00円
2.65円
13.00円

2Q連結業績ハイライト

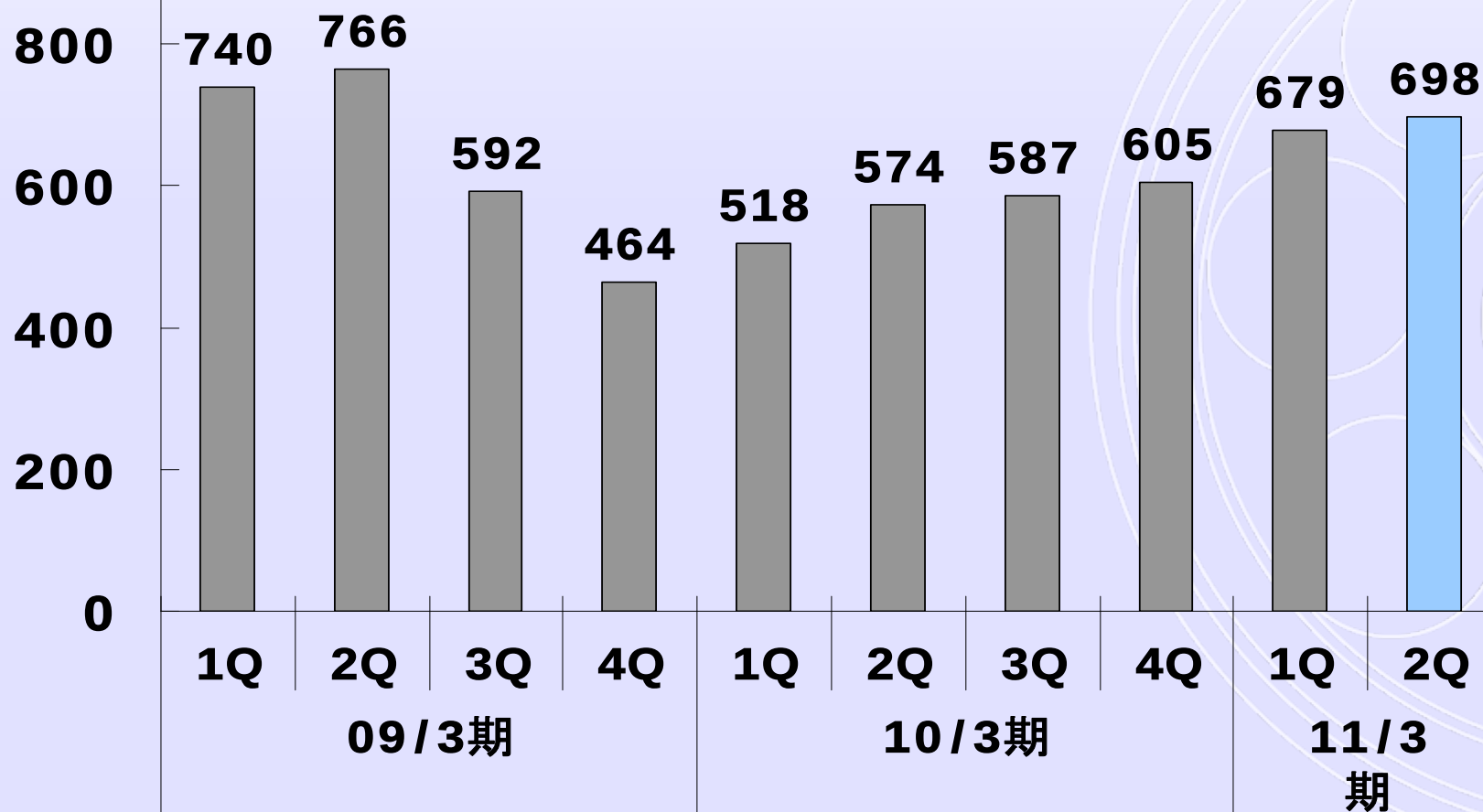
円高にも拘らず、好調な需要に支えられ、売上、営業利益ともに増加

(百万円)	2010年3月期	2011年3月期		前年同期比 伸び率	前四半期比 伸び率
	2Q	1Q	2Q		
売上高	57,430	67,891	69,803	+21.5%	+2.8%
営業利益	2,720	6,024	6,346	2.3倍	+5.3%
経常利益	2,130	5,600	5,935	2.8倍	+6.0%
税引前利益	2,099	5,592	5,511	2.6倍	-1.4%
四半期純利益	1,315	3,815	3,502	2.7倍	-8.2%
一株当たり 四半期純利益(円)	3.38	9.99	9.16	2.7倍	-8.3%

為替レート	10/3期2Q	11/3期1Q	11/3期2Q
US\$	94.74円	92.81円	86.58円
ユーロ	134.24円	120.53円	109.31円
タイバーツ	2.78円	2.86円	2.70円
人民元	13.85円	13.60円	12.73円

(億円)
1,000

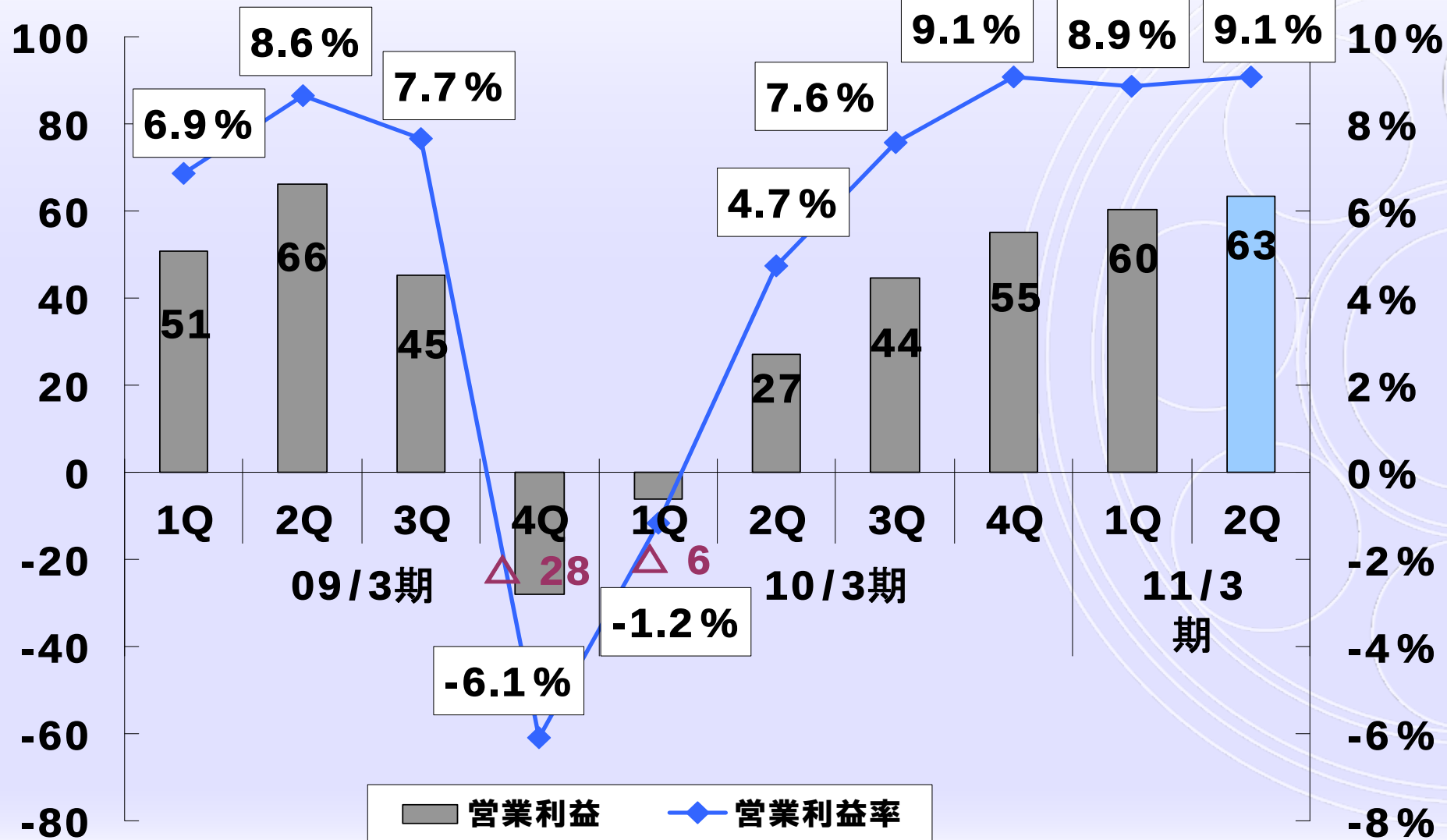
前年同期比 +21.5%
前四半期比 +2.8%



営業利益

四半期推移

(億円)



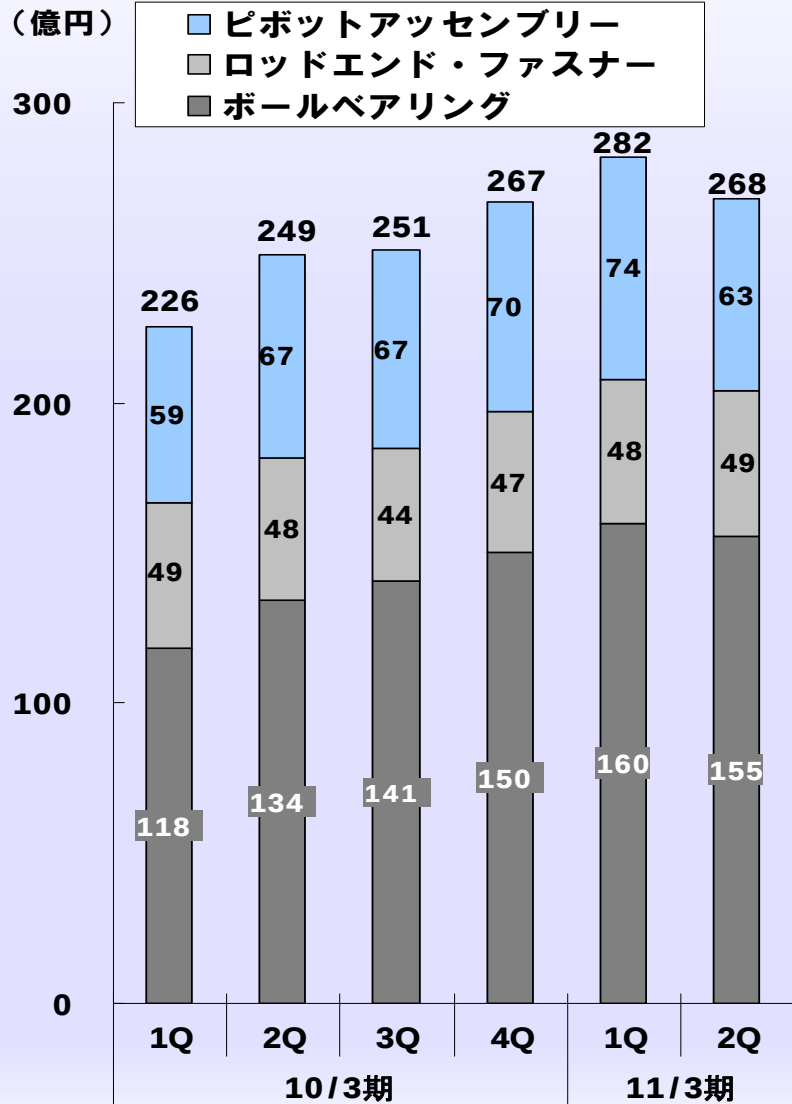
機械加工品事業

セグメント別

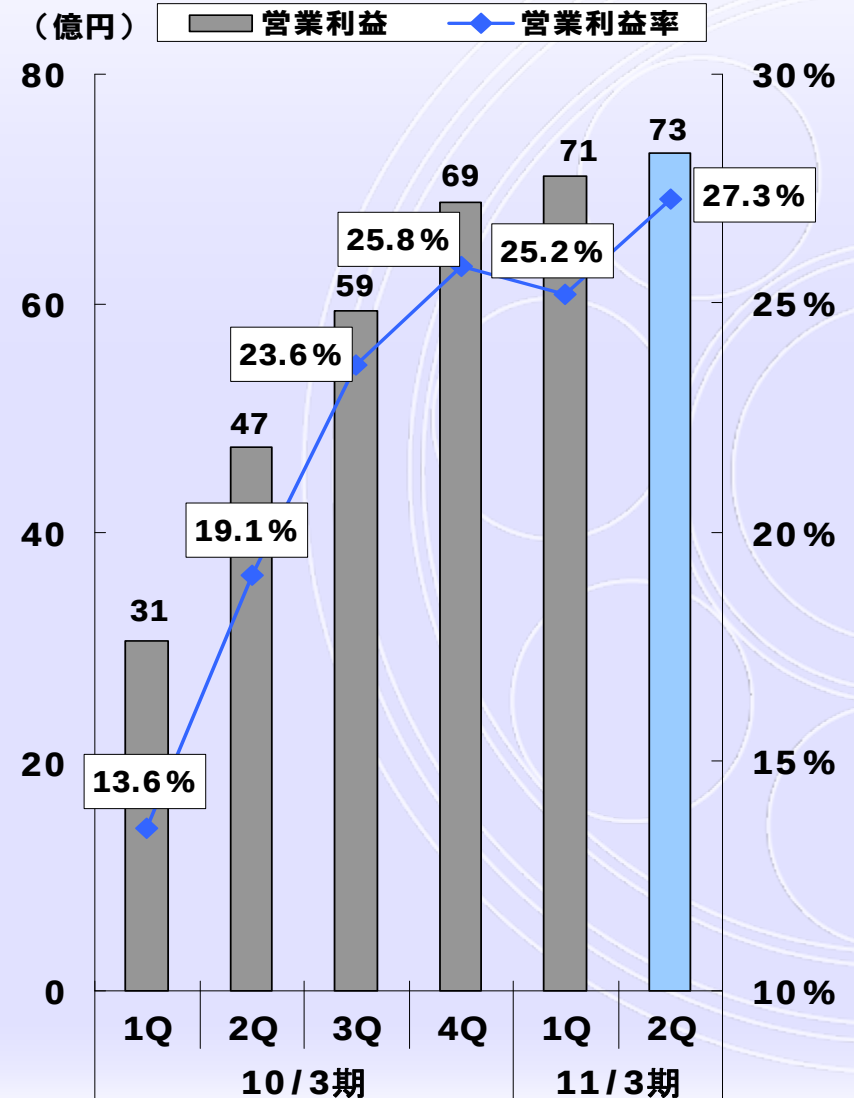
※新セグメントによる2010年3月期数値は、会計監査人による監査を受けたものではありません。

四半期推移

売上高



営業利益



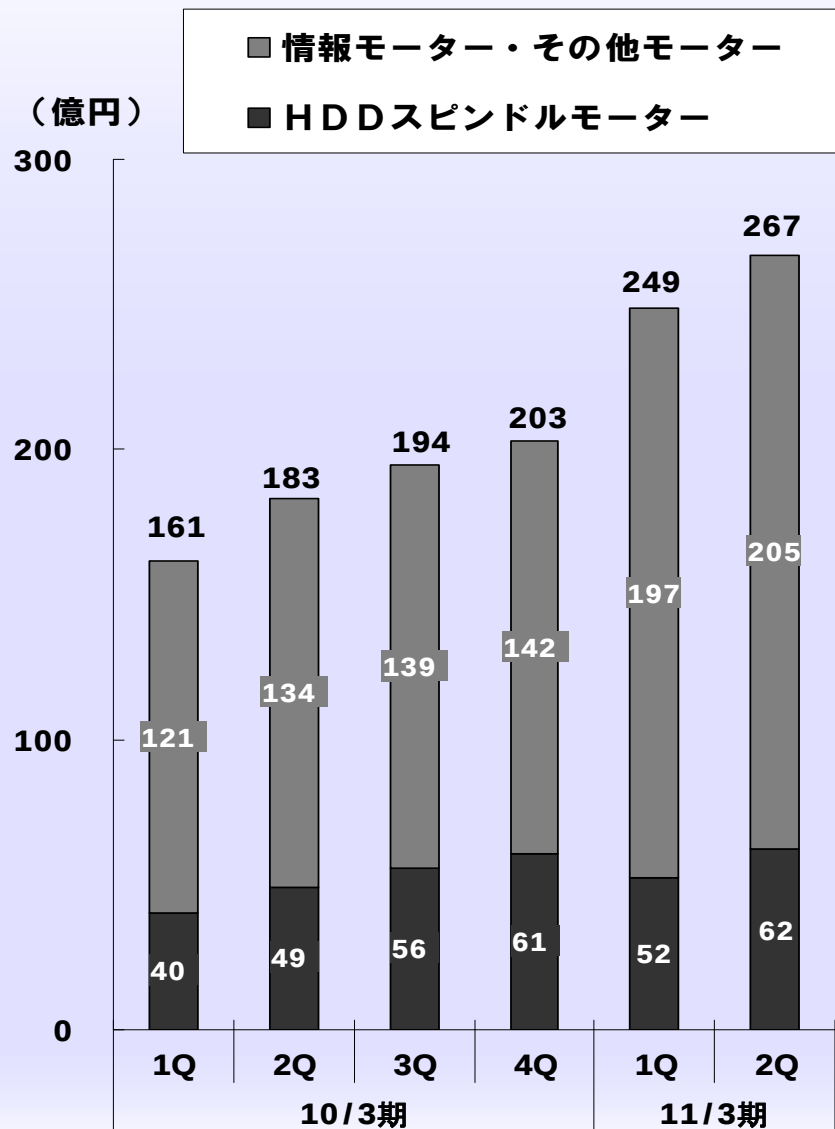
回転機器事業

セグメント別

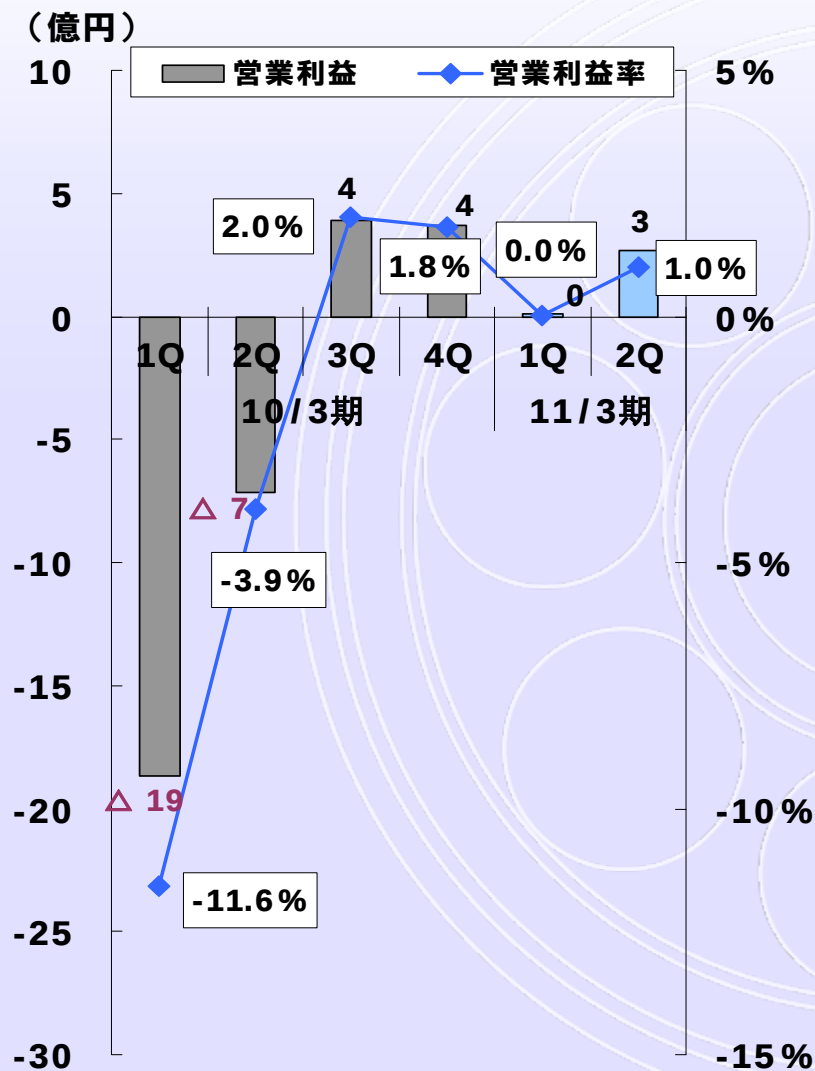
※新セグメントによる2010年3月期数値は、会計監査人による監査を受けたものではありません。

四半期推移

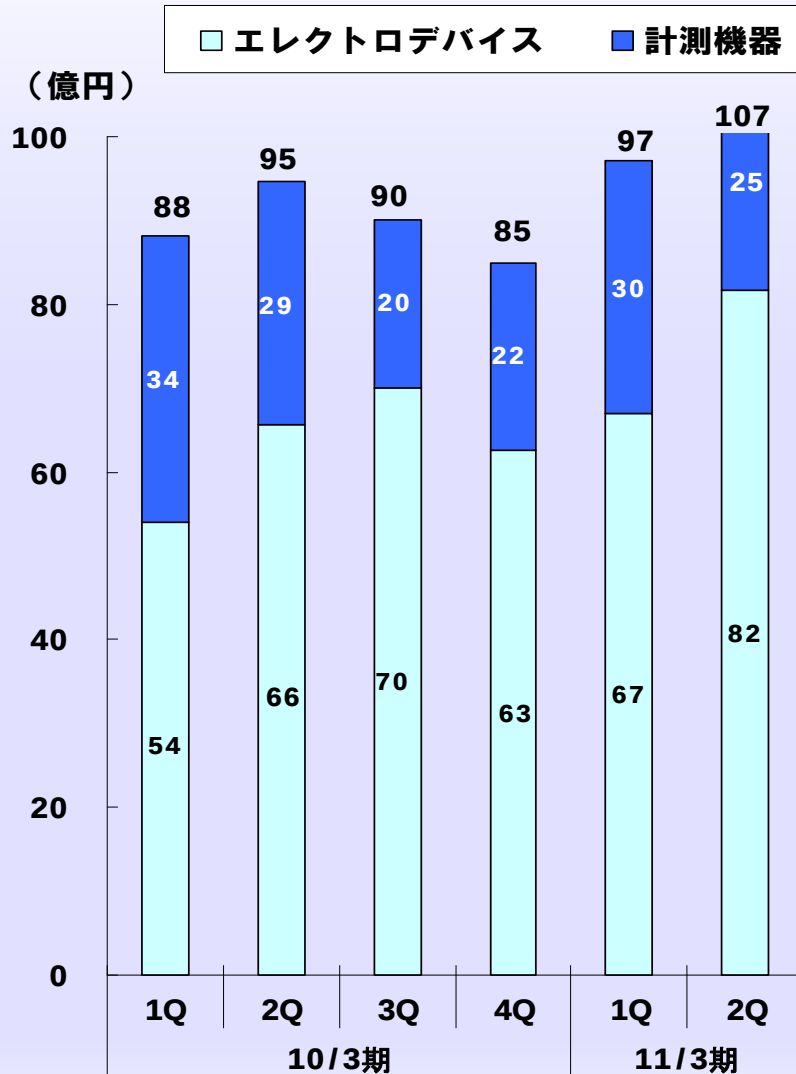
売上高



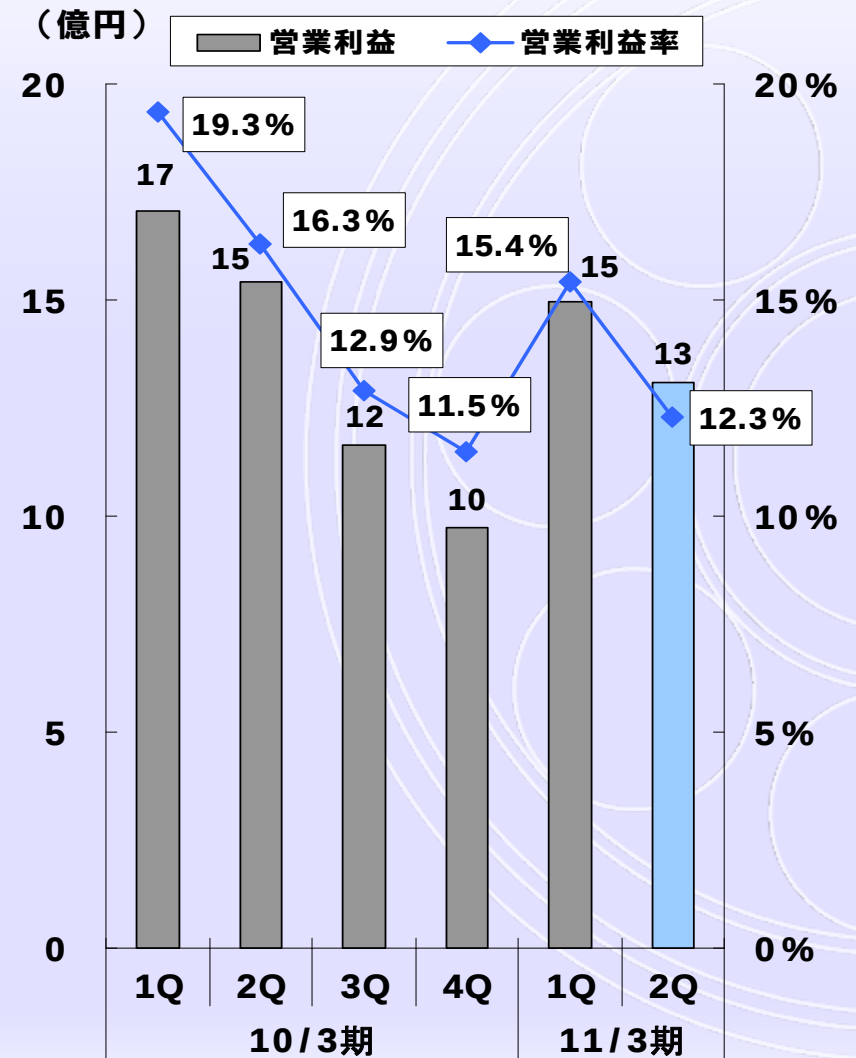
営業利益



売上高



営業利益



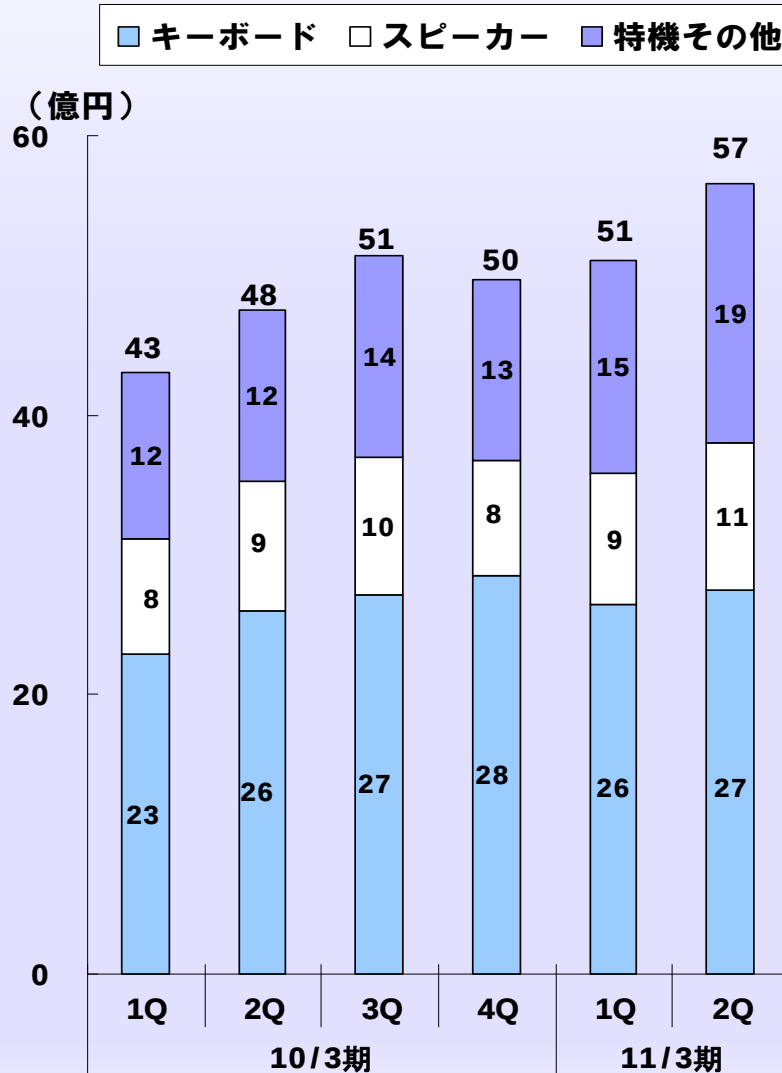
その他事業

セグメント別

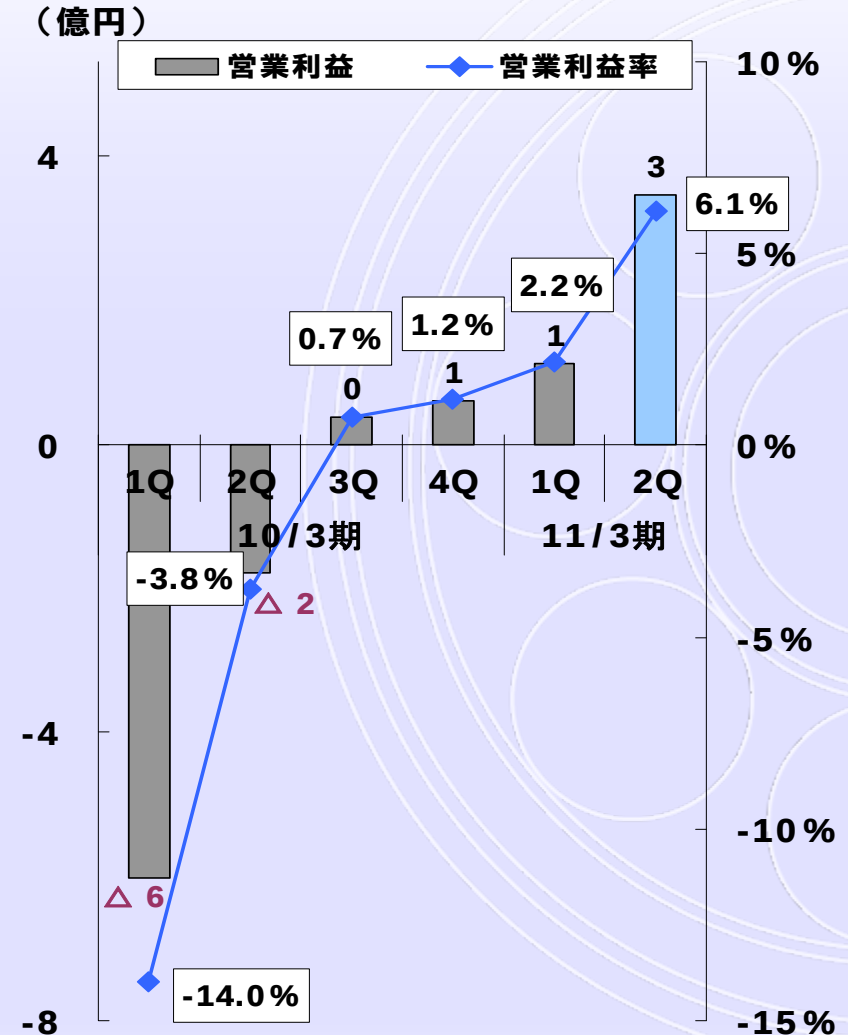
※新セグメントによる2010年3月期数値は、会計監査人による監査を受けたものではありません。

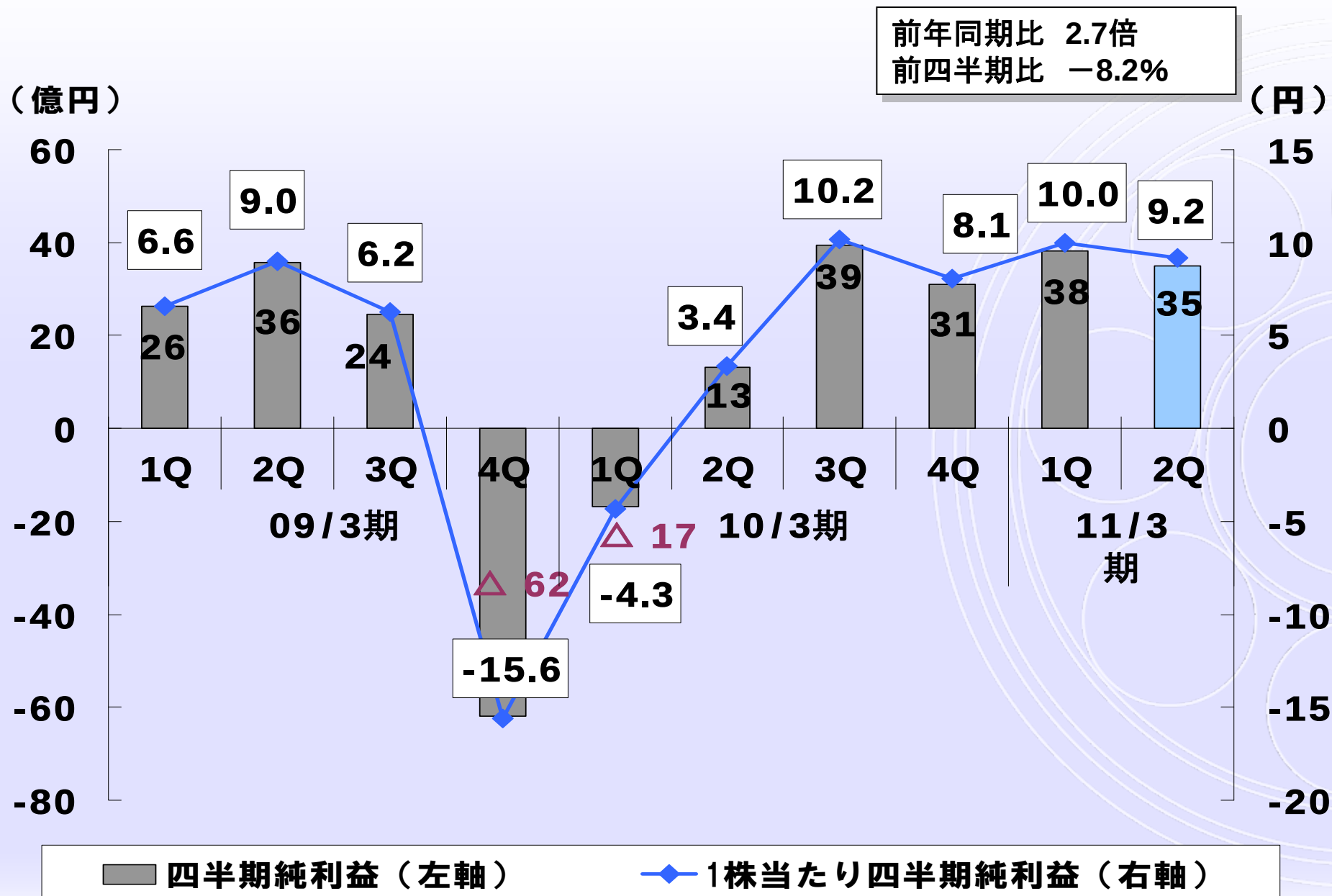
四半期推移

売上高

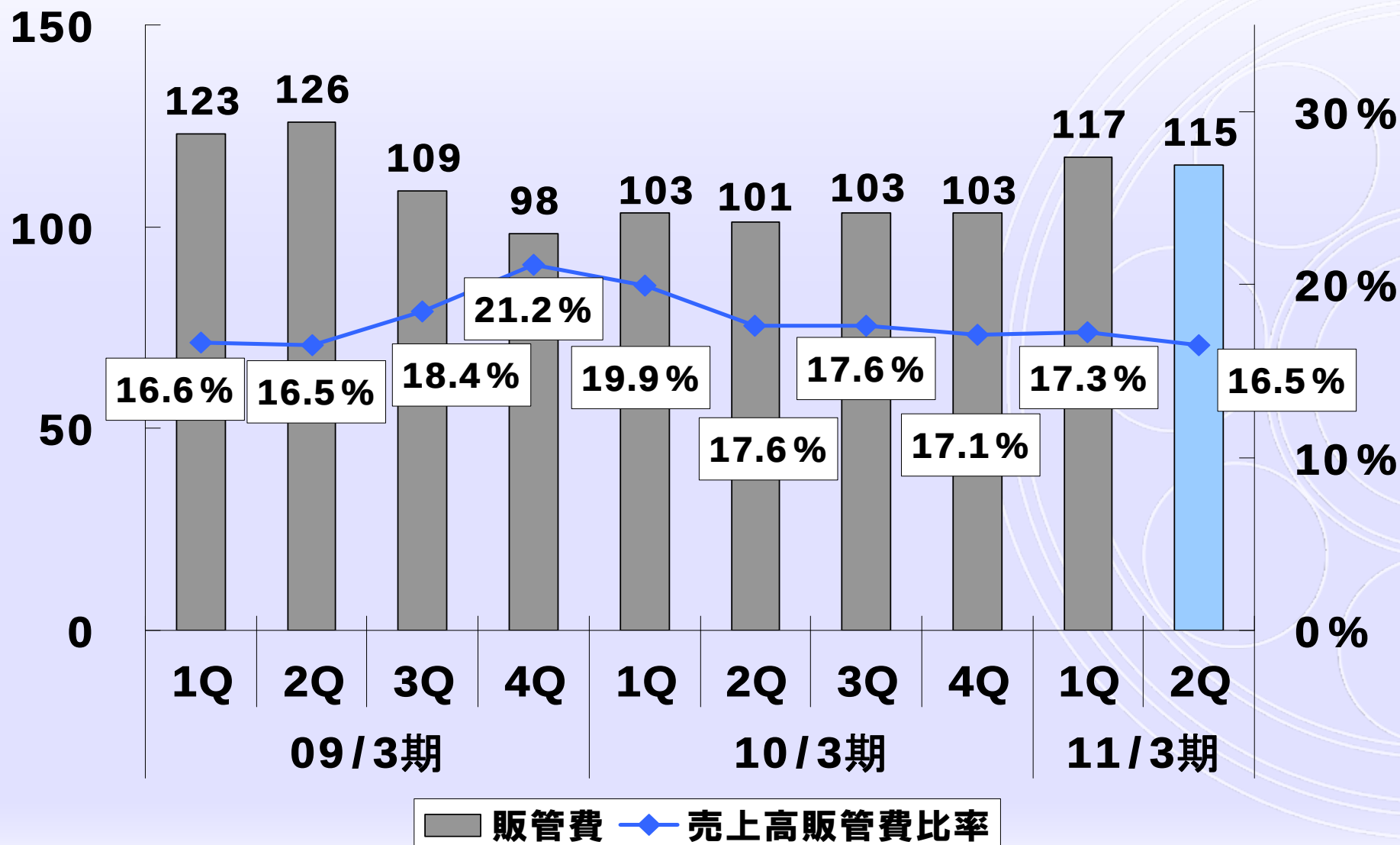


営業利益

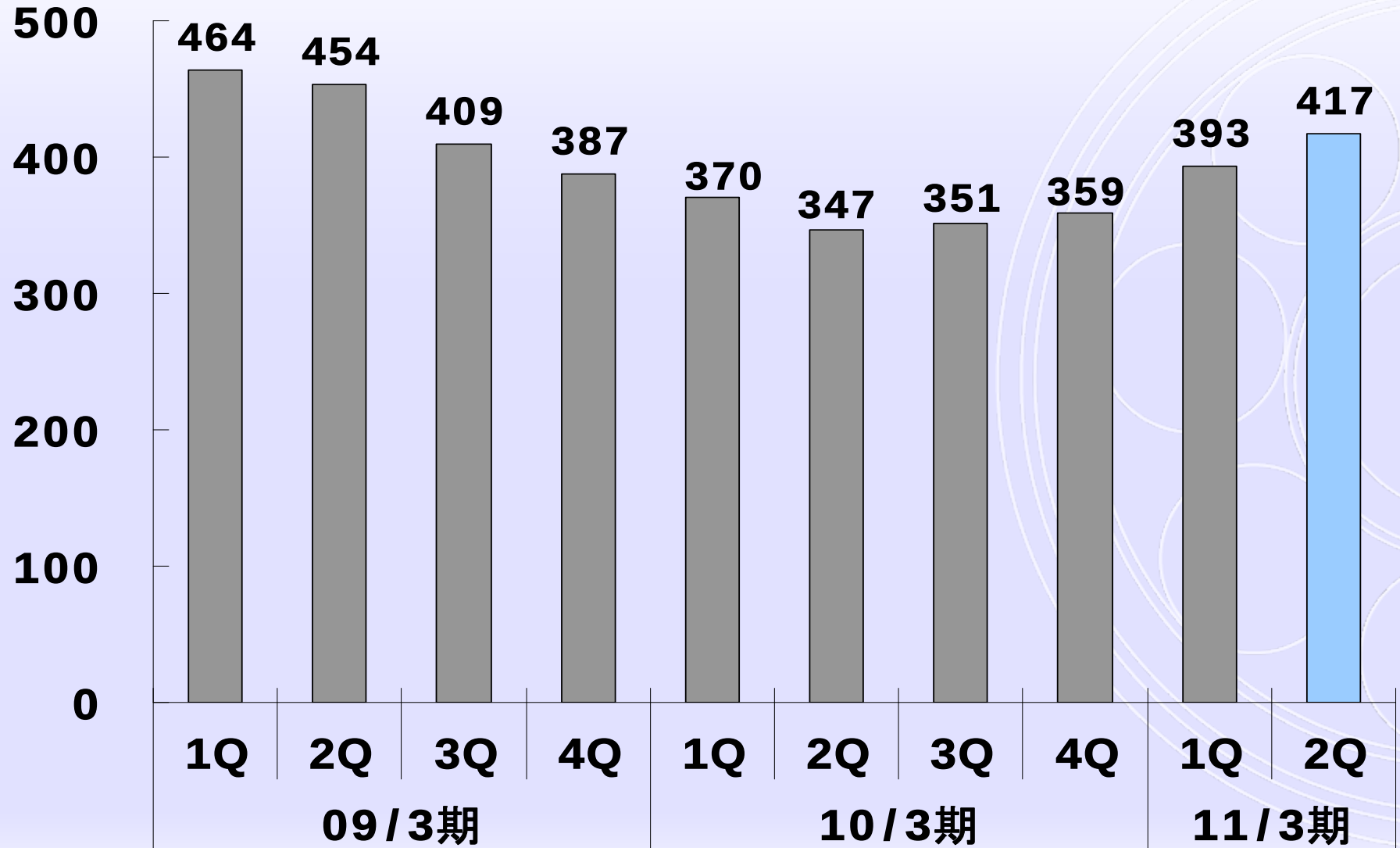




(億円)

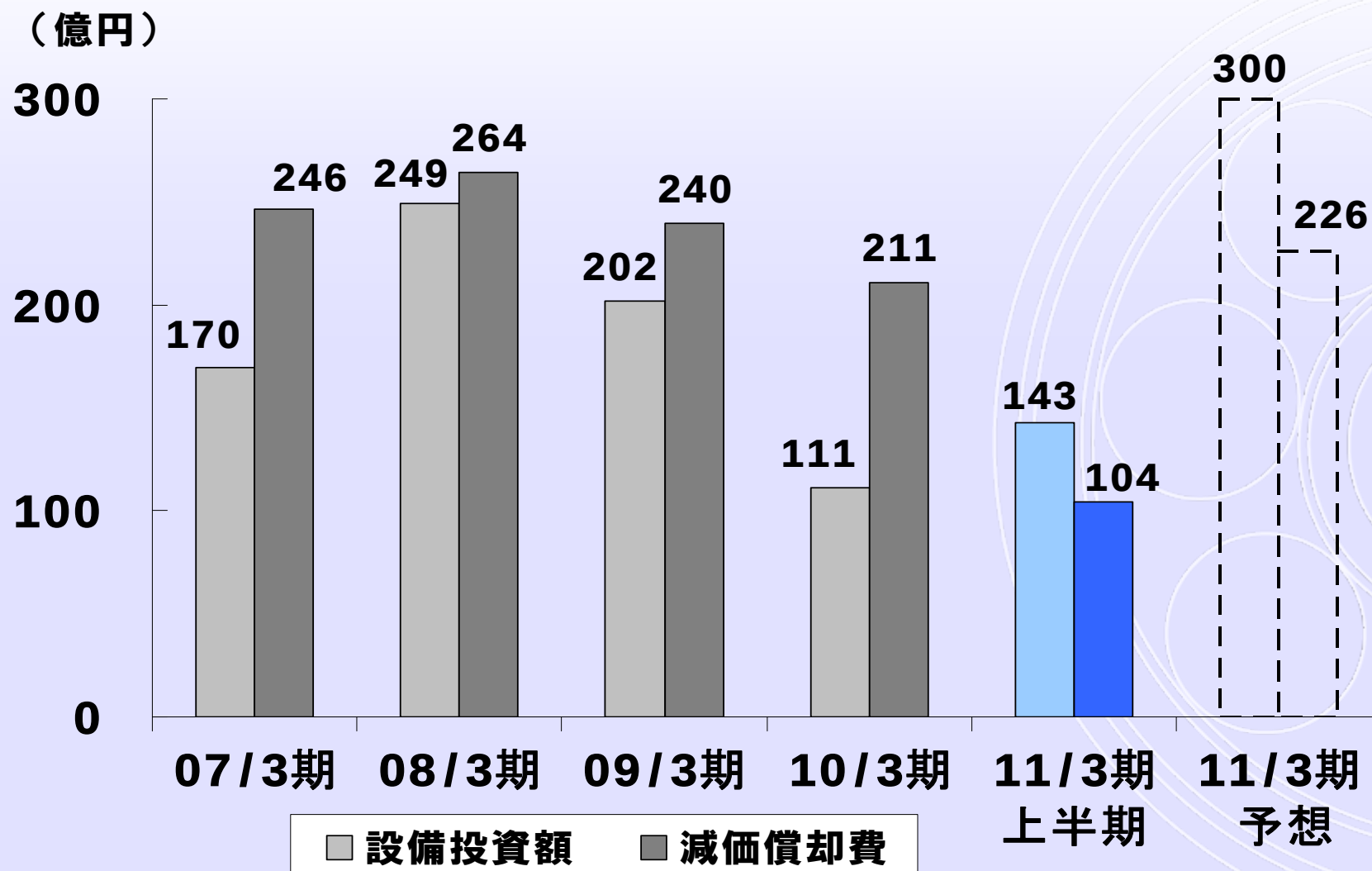


(億円)



設備投資額・減価償却費

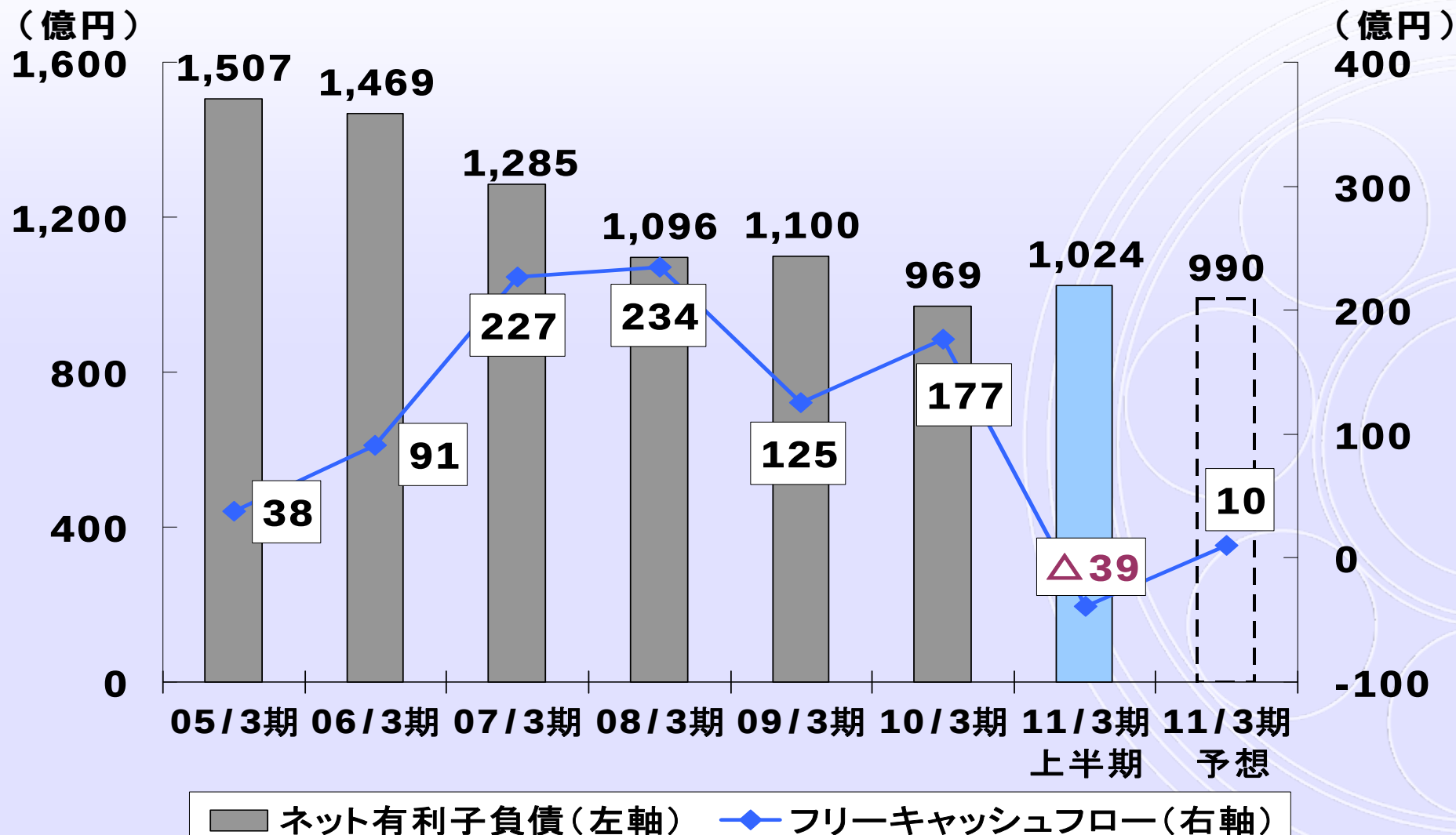
年推移



※09/3期よりリース会計処理変更に伴い、ファイナンス・リース資産を計上しています。

ネット有利子負債

年推移



ネット有利子負債 : 有利子負債合計－現預金
 フリーキャッシュフロー : 営業活動CF＋投資活動CF

業績予想

業績予想を上方修正

(世界経済の8割回復と現行為替水準を前提)

(百万円)	2010年3月期		2011年3月期		前期比	従来予想		
	通期	上半期	下半期 修正予想	通期 修正予想		下半期	通期	通期 増加額
売上高	228,446	137,695	136,305	274,000	+19.9%	136,000	265,000	9,000
営業利益	12,059	12,371	12,629	25,000	2.1倍	12,600	23,500	1,500
経常利益	10,203	11,536	11,564	23,100	2.3倍	11,600	21,500	1,600
税引前利益	9,261	11,103	9,897	21,000	2.3倍	11,500	19,300	1,700
純利益	6,662	7,317	6,183	13,500	2.0倍	7,800	12,500	1,000
一株当たり 純利益 (円)	17.20	19.15	16.17	35.32	2.1倍	20.42	32.73	2.59

為替レート	10/3期 通期	11/3期 上半期	11/3期 下半期想定	11/3期 通期想定
US\$	93.04円	89.70円	81.00円	85.35円
ユーロ	131.10円	114.92円	111.00円	112.96円
タイバーツ	2.74円	2.78円	2.70円	2.74円
人民元	13.61円	13.17円	12.20円	12.69円

11/3期 下半期想定	11/3期 通期想定
90.00円	90.00円
132.00円	132.00円
2.65円	2.65円
13.00円	13.00円

経営方針と事業戦略について

2010年 11月 2日

代表取締役 社長執行役員

貝沼 由久

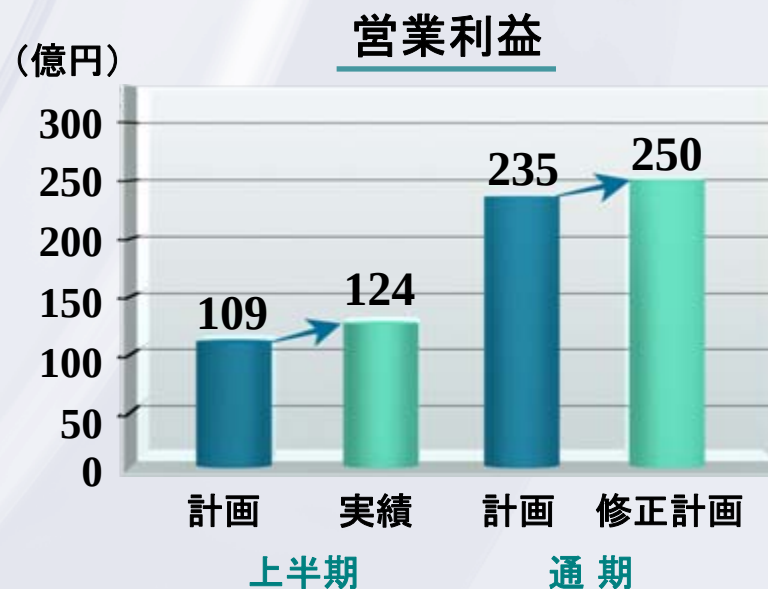
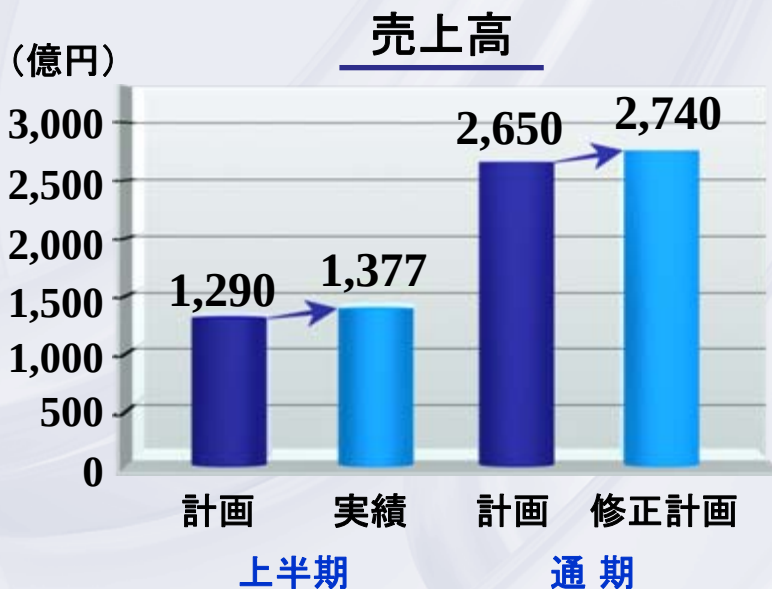
2011年3月期上半期の 経営戦略執行状況

上半期業績は、期初計画を上回る

円高にもかかわらず、好調な需要に支えられ、
上半期業績は期初計画を上回った

通期業績予想を上方修正
(世界経済の8割回復と現行為替水準を前提)

下半期の経済状況は不透明であるが、
積極的な経費コントロールを含め、通期目標を達成する

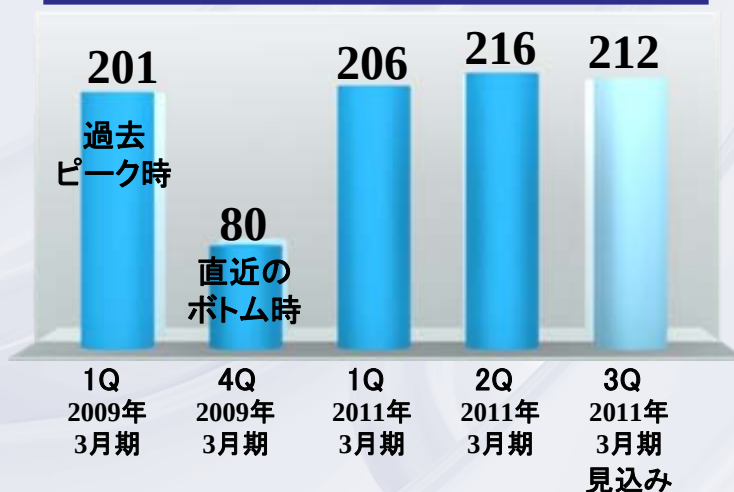


上半期のトピックス(1)-1

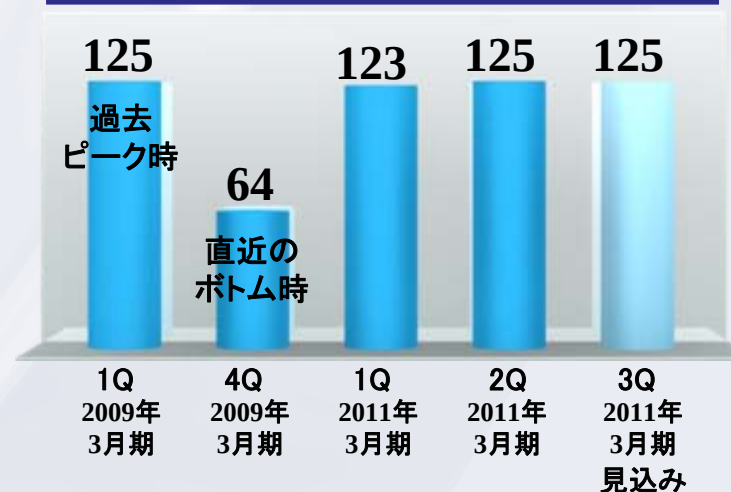
ボールベアリングはフル操業に

- ・エマージング市場を中心に、世界需要の伸びが続く
- ・8月に月産2億2100万個と過去最高を更新
- ・6月以降HDDピボットアッセンブリー向け内販は足踏み状態に
- ・外販は供給余力回復とともに、新興国を中心とした需要を積極的に取り込み、今後も高水準の販売が継続
- ・タイのバンパインに予定通り新工場を建設

ボールベアリング生産数量 (百万個/月)



ボールベアリング外販数量 (百万個/月)



上半期のトピックス(1)-2

ボールベアリング事業中国市場戦略の再執行

【世界景気減速後の市場変化】

低価格量産品市場の拡大



戦略的参入の検討

ターゲット：汎用サイズ

(中国クリーナーメーカー等向けボールベアリング)

施策

- 【1】上海ボールベアリング工場増産による原価低減
- 【2】中国製部材及び生産設備の活用
- 【3】減価償却の進行
- 【4】徹底した間接費用削減
- 【5】~~中国ボールベアリングメーカーのM&Aの検討等~~

復活!
今年末までに
計画策定

上半期トピックス(2)

LEDバックライト事業

小型LEDバックライトのシェアは世界No.1へ！

9月の販売数量は1,700万個
10月は2,000万個の販売に
⇒生産能力一杯のフル稼働が続いている

スマートフォンを中心とした需要は急拡大



3,000万個／月の生産能力拡大を決定
より薄型で高輝度新製品の開発

上半期トピックス(3)

DCブラシレスモーター事業

第1四半期から収益に貢献

OA関連市場の好調により、期初想定を越える業績
今期売上は約200億円に！



生産性の向上、新市場の開拓で
更なる成長を目指す



ポリゴンミラースキャナモーター



パワーブラシレスモーター



小型ブラシレスモーター

上半期トピックス(4)

キーボード/スピーカーの収益改善

キーボード

- ・ものづくり強化により前期4Qから完全黒字化！
- ・高付加価値製品を更に拡大

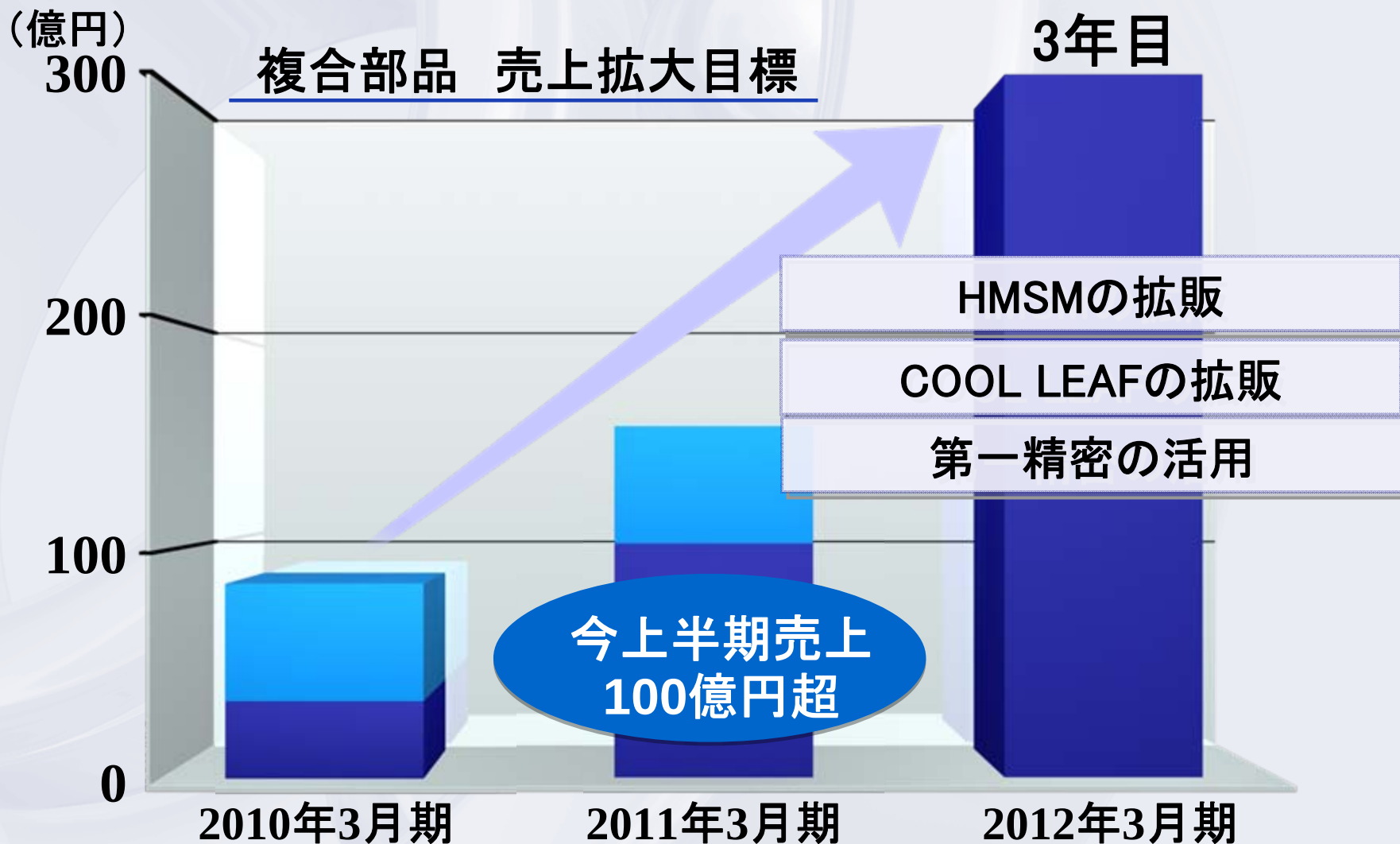
スピーカー

- ・単月レベルでほぼ黒字化を達成！
- ・大型液晶TV向けに、「他社とは違う高付加価値」製品を投入
＝ハイパワーマイクロスピーカーを納入開始

上半期トピックス(5)-1

EMS売上拡大を加速

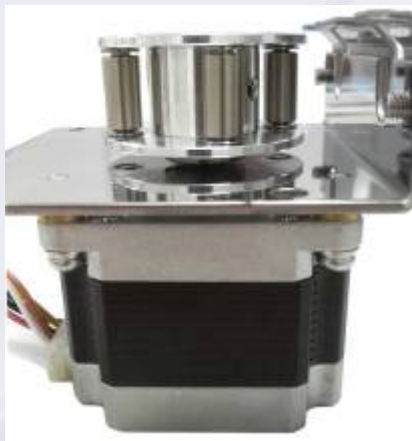
今期売上150億円超・来期は300億円へ



上半期トピックス(5)-2

複合製品の具体例

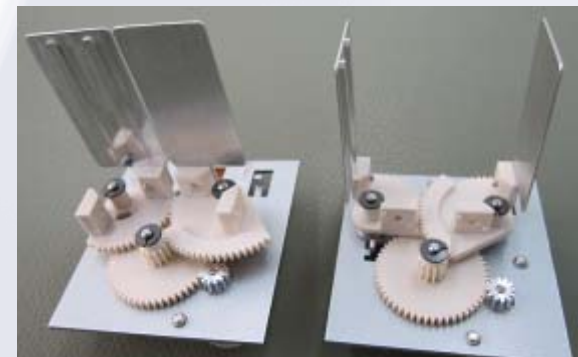
血液検査装置向け
液剤用ポンプ
HBモーター＋ローター



サンプル品：
開閉アクチュエーター
DCモーター＋ギア列



サンプル品：
アイリス機構
PMステッピング
モーター＋ギア列



上半期トピックス(5)-3

COOL LEAFは遂に商品化へ！！

キーボードでの多点同時入力を含め、
インプットデバイスに対応するファームウェアが完成

下半期から、販売活動を開始



上半期トピックス(6)

HDD市場は踊り場

- ・昨年半ば以降、HDD需要が急増
- ・今年6月以降HDD市場は需要の伸びが一服し、踊り場局面に入っている
- ・中期的なHDD市場の成長性について疑いは無い

(百万台)

HDD出荷数量(四半期)

(出所:TSR[2010年10月])



上半期トピックス(7)

スピンドルモーター事業の収益改善

- 縦と横の総合力を結集し、部品の作り込みに集中
- ・事業部長交代、内部組織変更等で生産性改善
 - ・機械加工部門からのフルサポート体制確立
 - ・経営陣の積極関与

歩留まり向上⇒スクラップの削減



第2四半期で大きく収益が改善
月次黒字化は目前に

単に数量拡大に頼るだけではない収益体制を目指す！

上半期トピックス(8)

ピボットアッセンブリー

生産能力を増強
月産3,000万個 → 月産3,700万個
(2010年8月に完了)

HDD市場は踊り場局面に入っているが、
中期的なHDD市場の成長性について疑いは無い



月産4,500万個への生産能力増強と、
ピボットアッセンブリー新工場については、
着工時期を見直し中

上半期トピックス(9)

一部モーターの不振による回転機器事業の収益低迷

DCブラシ付モーター

- ・新製品Sシリーズの立上げ遅れ
- ・価格競争/為替影響

振動モーター

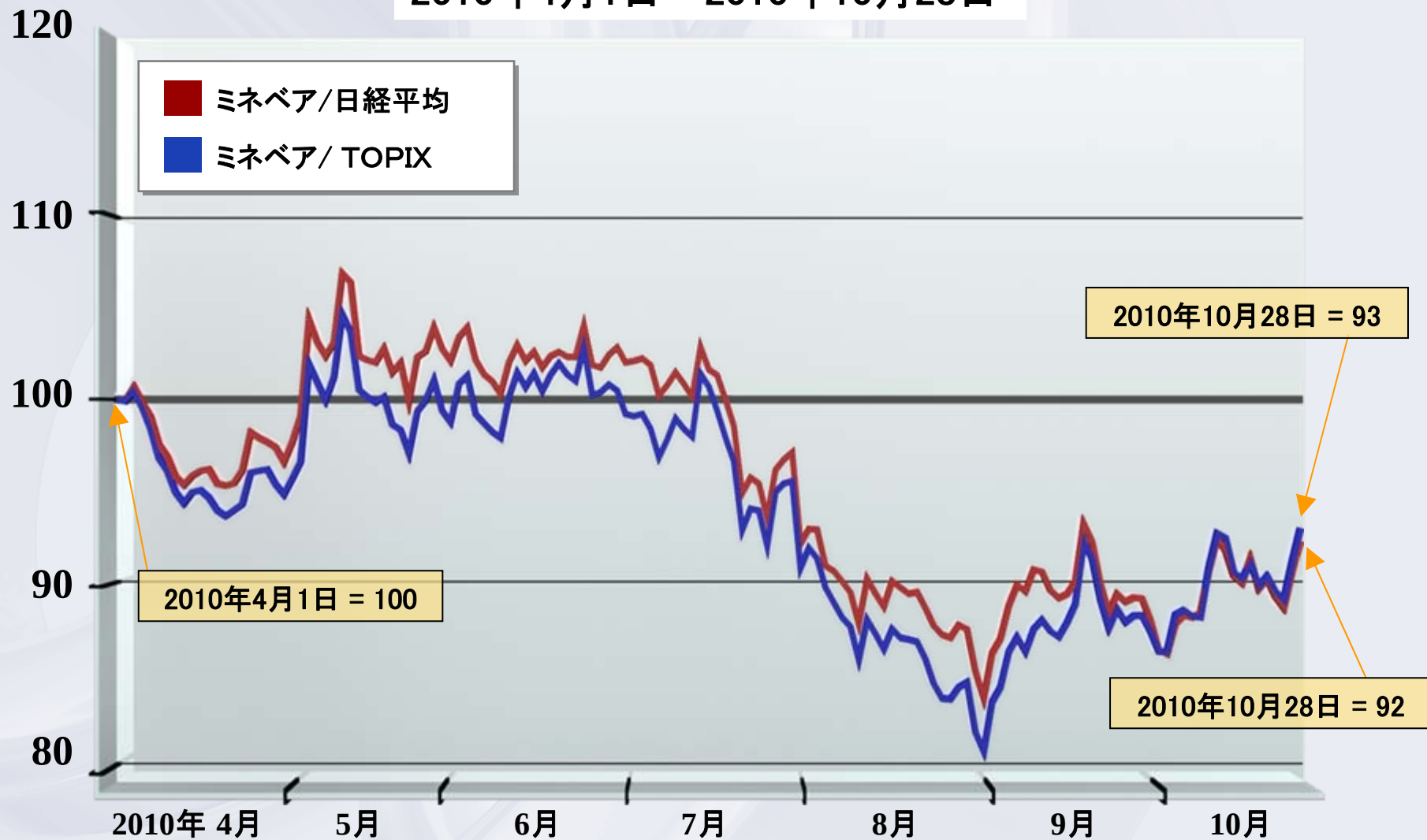
- ・一部大手顧客への新製品立上げ遅れによる歩留まり悪化

精密モーター

- ・一部製品の終息による売上減少

相対株価パフォーマンス

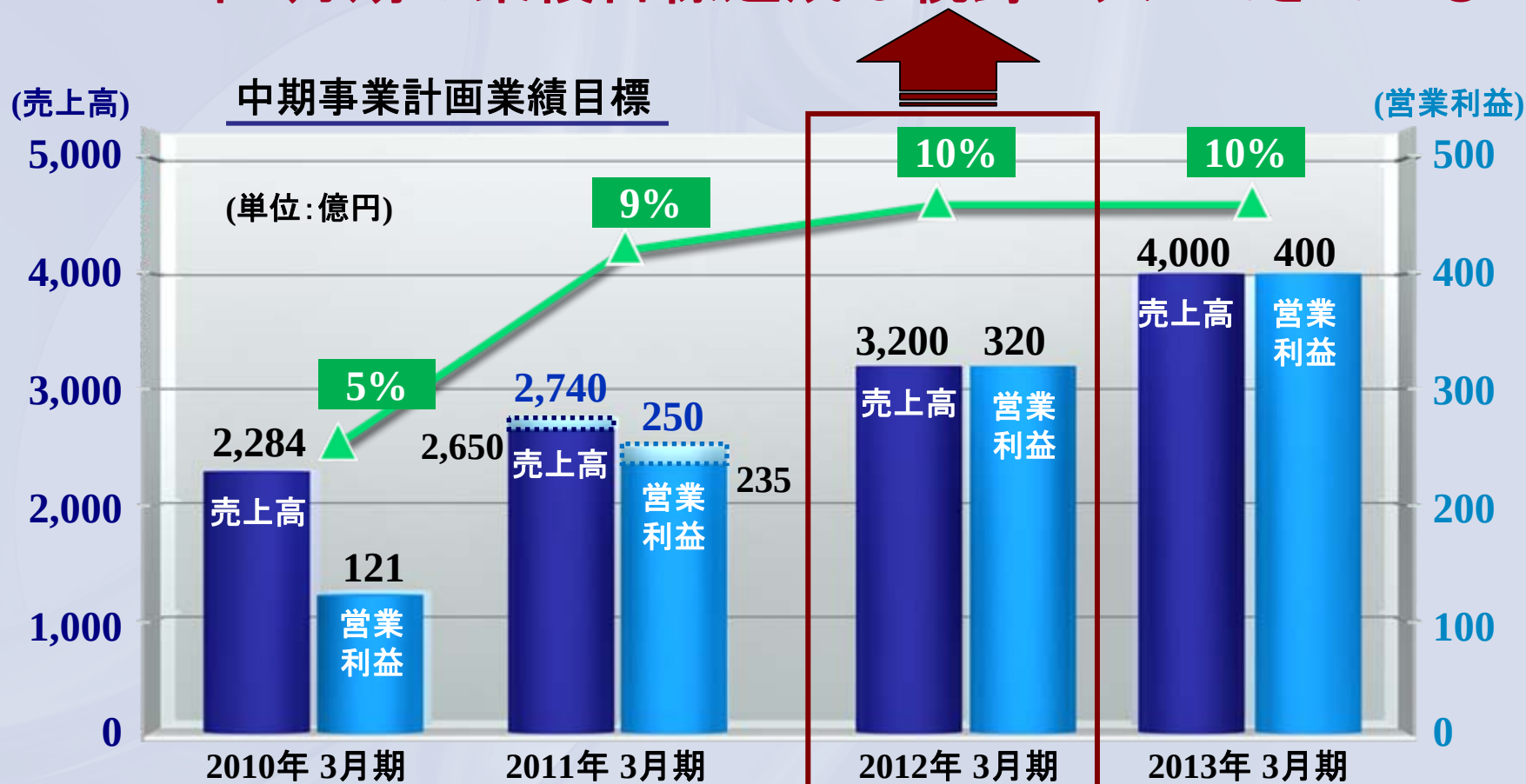
2010年4月1日～2010年10月28日



中期事業計画執行状況 (2012年3月期に向けて)

業績目標は変更なし

為替変動など外部環境は変化しているが、
2012年3月期の業績目標達成は視野に入ってきている



為替前提

90円/US\$

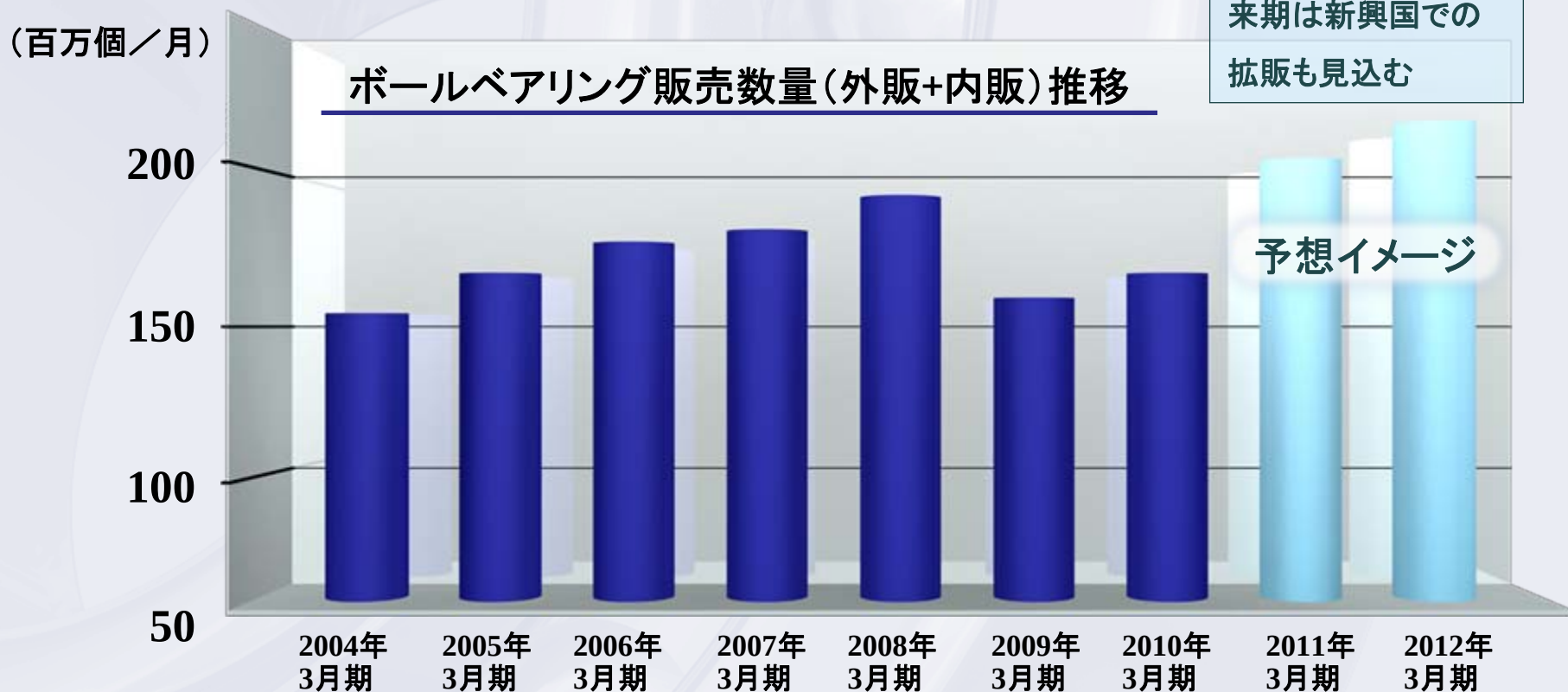
132円/ユーロ

2.65円/バーツ

13円/人民元

ボールベアリングは引き続き堅調

世界景気の回復と共にボールベアリング需要は拡大



タイ バンパイン新工場は2011年秋に稼動開始予定

ロッドエンドはピーク時生産更新へ

航空機市場の受注が増加、来期に向け需要は拡大
2011年以降は新型機生産も拡大

ボーイング・エアバス民間航空機生産機数推移



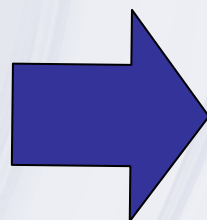
フル稼働への回復は2011年秋に前倒しに
収益回復の早期化

LEDバックライトは更に拡大

LEDバックライトはスマートフォンを中心として需要が急拡大

小型LEDバックライトシェア世界No.1メーカーへ！
生産能力増強計画を更に拡大・前倒し

2千4百万個／月
(中期事業計画)



3千万個／月
(2011年秋を予定)

中国蘇州新工場は2011年3月稼動開始予定

◆美蓓亜電子科技(蘇州)有限公司◆

設 立	2010年8月
工場総床面積	約1万m ² (2階建て)



回転機器の利益は様変わりに

スピンドルモーター事業は赤字解消へ

DCブラシ付モーター

- ・カンボジア新工場稼動で労務費抑制

振動モーター

- ・新製品立上げトラブルの解消
- ・カンボジアでの生産を検討

精密モーター

- ・売上増加で黒字化

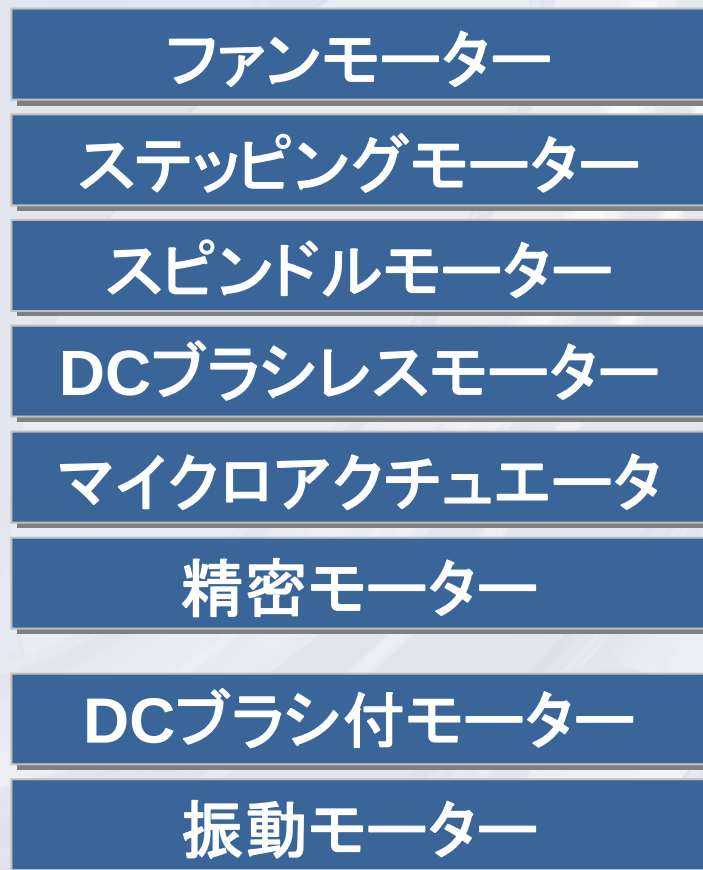


来期の回転機器セグメントの利益が大きく拡大

回転機器のベンチマークは数量へ(1)

モーター製品の販売数量開示について

個別販売数量



総販売数量での
開示に変更

ブラシレスモーター

ブラシ付モーター

回転機器のベンチマークは数量へ(2)

モーター製品年度別販売数量

ブラシレスモーター月平均販売数量



ブラシ付モーター月平均販売数量



情報モーター事業は拡大期に

パナソニック(株)モータ社情報モーター事業の取得
情報モーター事業は拡大期に

『モーター事業を第二の柱に育てる』
方針は8合目まで達成

モーター事業の黒字化を
定着させるステージへ

構造改革終了を確認

この一環としてカンボジアへ進出

モーター工場の戦略的再編の検討

カンボジアへの進出を検討(1)

国の概要

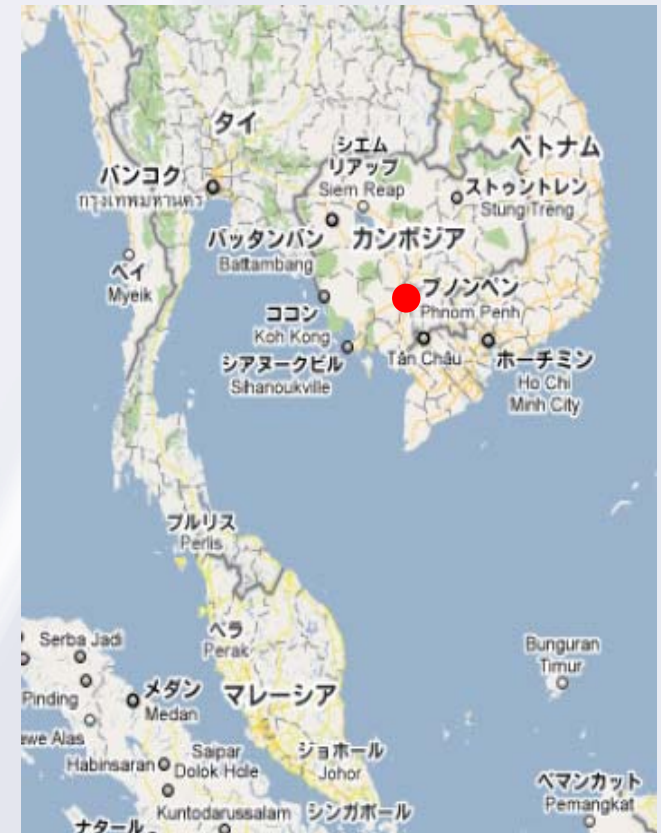
- ・面積: 18万km² (日本の本州並み)
- ・人口: 1,340万人
- ・首都: プノンペン (133万人)
- ・一人当たりGDP: 約800ドル

進出のメリット

- ・ミネベアのタイ工場群との連携など
- ・リスク分散

進出のデメリット

- ・インフラ未整備: 割高で不安定な電力等
- ・産業基盤: 部品産業は未発達
- ・識字率が低い



(出所: Google 地図データ)

カンボジアへの進出を検討(2)

通貨変動と賃金上昇、更にはカントリーリスクなどを視野に入れたリスクの分散を図る



Minebea (Cambodia) Co., Ltd.の設立と新工場建設

- ・2011年4月から、モーター生産を中心とした新工場をスタート予定
- ・プノンペンの経済特区に20万m²を確保の見込み
- ・中期的に、約50億円の投資と約5,000人の雇用を計画

17年ぶりに新たな国で新量産工場建設へ！

2012年3月期業績目標は達成可能と判断

ボールベアリング販売拡大と新工場の稼働

ロッドエンドは新工場も含めてフル稼働に

HDD市場は順調に拡大

7mmハイトHDDに

当社のスリーブレスピボットアッセンブリーを搭載

LEDバックライト新工場稼働で業績は更に拡大

回転機器は体質改善により利益が大きく改善

M&Aによる追加ビジネスが寄与



来期売上3,200億円、営業利益320億円達成へ！

財務戦略

財務戦略

フリーキャッシュフロー創出重視と財務の健全性維持

- ・今期末ネット有利子負債は目標990億円を達成見込み
- ・今後とも、財務体質の健全性とキャッシュフロー創出を重視し、ネット有利子負債は、1,000億円を中心としたゾーンを引き続き目標とする

配当方針

- ・今期中間配当は、当初予定通り3円/株(期末4円/株予定で、合計年7円/株予定)
- ・「当社は、経営環境を総合的に勘案し、継続的に安定した利益配分を維持しながら、株主資本の効率向上と株主へのより良い利益配分を第一義とし、業績をより反映した水準での利益還元をはかることを基本方針といたします」

自己株式戦略の継続

- ・経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行

ミネベア株式会社

決算説明会

<http://www.minebea.co.jp/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載のあらゆる情報はミネベア株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。